

1 学期通知表UPの心得 (重要)

期末テスト終了後、やるべきことを3点示しておきます。

① 授業中の態度を正し、周りに同調して騒がないこと。

テストが終わると結果にかかわらず解放感があります。しかし通知表がつくのは7月10日頃。まだ2週間以上あります。テスト後の授業態度・生活態度が悪くなったことが原因で通知表を下げないように注意しましょう。

② 副教科の作品の精度を上げて提出せよ。

作品提出日がテスト後の場合はこの間に精度を上げて提出せよ。副教科は作品・実技の点数が最重要なのは当然。授業もまじめに受けよう。

③ テストのまちがい直しを「早く・美しく」作成し提出せよ。

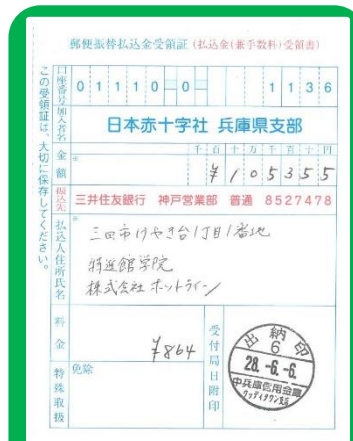
提出はテスト返却日から3日以内がベスト。一度くらい受け取りを断られても提出は3回チャレンジせよ。意欲は必ず認められます。〔野垣勝彦〕

6、7月のおもなスケジュール		
6/25	土	算数・数学 思考力検定
26	日	夏期入塾説明会
7/1	金	教育相談会①
2	土	教育相談会②
4	月	教育相談会③
9	土	輝き!三田!Summer フェスタ 特進館理科実験イベント
18	月	海の日【授業あり】
20	水	1学期授業終了
21	木	夏期講習スタート

「無駄」が隠し味

テストが近づくときみんな必死で勉強しています。そんなとき、先生から指示された課題に対して「こんなんやっても無駄」と思ったことはありませんか。きっとあるはずです。

たしかに一見すると無駄な課題もあります。しかし、その「無駄」にはきちんとした役割があるのです。料理の世界ではもはや常識ですが、「甘さ」を引き立てるために「塩分」を加えることがよくあります。単純に砂糖を入れれば甘みを強くすることはできますが、あえて無駄に思える塩を加えることで、その何倍もの甘みを引き出すことができるのです。勉強も同じです。一見すると無駄な課題がきみたちの能力を引き出す隠し味になっているのです。〔金子祐太〕



皆様のおかげで熊本地震被災地復興に向けての、多くの愛のこもった義援金が送れました。

本部事務局より

7月分学費の振替日は6/27(月)となっております。先月号の特進館通信にも記載させていただきましたが、7月分の学費と合算して、公開テスト受験料(小学生: ¥2,800、中学生: ¥3,300)をご請求させていただきます。金額の詳細につきましては明細をご確認ください。

**7/9(土)特進館学院にて
輝き!三田 summer フェスタ
ぜひご参加ください** [チラシ参照]

お母さん、誉めてください!

先日、中間テストが終わった頃のお話し。ホールで中3のある生徒に、「すごい!5教科合計で50点以上も上がったやん」と称賛し、その後に、「お母さん、喜んだやろ!」と話しかけたところ、彼女から、「お母さん、『70点以上の教科がないからあかん』って言ってた」という返答が返ってきました。

確かに、彼女は決してお勉強が得意な生徒ではありません。5教科の平均点は50点そこそこ。だから、この春特進館に転塾し、中間テスト前は毎日のように自習室でがんばって、わからない事項は必ず質問に来てくれました。そして、見事に60点以上の平均点を勝ち取ったのです。なのに…。



彼女からの悲しい返答を聞いたとき、私は、「このお母さんって、この子が次の期末で70点平均を取っても、『80点ないからあかん』っていうのだろうなあ…」という思いが、頭の中をよぎりました。

お母さん、お願いです!子どもたちは誉められて伸びるのです。塾の先生なんかより、子どもたち自身が一番誉めてもらいたい相手は誰なのかを、よく考えていただき、たとえ1点でも上がった教科があれば、悪い教科に目をつぶってでも、とにかくオーバーアクションで、我が子を誉めてあげてください。「すごい」、「やったね」、「うれしい」…。言葉は何でもかまいません。照れくさいなんて言わずに…。〔北村昌弘〕

編集 後記

まだ少し寒いかなという時期に学校ではプールの授業が始まります。私たちが子どものときも、プールはうれしいけど、冷たいプールとそれよりもまだ冷たいプール前のシャワーに震えた記憶があります。私たち保護者の時代と同じところもあれば、変わるところもあり、医者による意見書がなくとも、保護者の判断でラッシュガードやゴーグルの着用が認められる学校も多くなっているようです。変わりゆく環境と子ども達の状況と…、自分の経験だけではなかなか判断できないことが増えてきました。